

目次

辺野古米軍基地建設に向けた埋立工事の即時中止を要請する!.....	2
<緊急声明>　「辺野古米軍基地建設に向けた埋立工事の即時中止を要請する！」.....	2
声明「辺野古基地建設の即時中止を要請する」.....	5
大江健三郎さんらが声明「辺野古の埋め立て即時中止を」.....	6
辺野古新基地建設　識者「辺野古中止を」　大江氏ら22人緊急声明.....	7
「辺野古工事中止を」　大江健三郎氏ら　有識者22人緊急声明.....	8
「辺野古の埋め立て即時中止を」　大江健三郎さんら声明.....	9

辺野古米軍基地建設に向けた埋立工事の即時中止を要請する!

辺野古埋立工事の即時中止を要請する 緊急署名事務局 東京都, 日本¹

下記の緊急声明を日本政府に提出します。賛同署名を追加提出しますのでご署名ください。

コメント欄は任意ですが肩書き（市民でも可）も添えていただけると現実感ができます。直近のコメントは画面をスクロールして下の方で見られます。またコメント集は HP「この声を聴け！」で公開しています。

<http://no-base-henoko.jimdo.com/>

声明は発表後直ちに官邸に送ります。次に、いただいた署名とコメントは分離して第一次締め切り 4月 20 日、第二次締め切り 5月 20 日として政府にそれぞれ提出します。

この署名サイト（ 短縮 URL <http://chn.ge/1aiGN6r> または <http://mcaf.ee/a2gd9> ）を広めてください。

<緊急声明> 「辺野古米軍基地建設に向けた埋立工事の即時中止を要請する！」

私たちは、沖縄での辺野古米軍基地建設をめぐる問題に、重大な関心を寄せてきました。沖縄県民の意思は、もはや明確です。昨年 2014 年 1 月の名護市長選挙では、同米軍基地建設反対を公約する稲嶺進氏が再選、11 月の県知事選では、同じく建設反対を明言する翁長雄志氏が、10 万票もの大差で、現職の仲井真弘多氏を破り、12 月に行われた総選挙では、小選挙区すべてで建設反対候補が勝利しました。思想・信条を超え、また政治的・党派的違いを超えた「オール沖縄」で、辺野古米軍基地建設には、「NO」という県民の強い意思が示されたのです。

にもかかわらず、安倍政権は、仲井真前知事が 2013 年暮れ、公約を翻して行った公有水面埋め立て承認を盾に、強引に埋め立て工事を進めています。こうした政府の行為は、沖縄県民の意思を侮辱し、日本の民主主義と地方自治の根幹を破壊する暴挙です。

新知事は、「普天間飛行場代替施設建設事業に係る公有水面埋立承認手続に関する第三者委員会」（以下「第三者委員会」）を設置することを決め、仲井真弘多前知事が行った公有水面埋立承認手続に法律的な瑕疵がなかったかどうか、検証を始めました。つまり、埋立承認、あるいはその根拠となった環境アセスメントの正統性が崩れる可能性があるということにほかなりません。まともな民主主義国の政府であれば、少なくともこの検証期間中、埋立工事を中断するのが当然です。

翁長県知事は 3 月 23 日、新たな決断を下しました。ボーリング調査を含むすべての作業を停止するよ

¹
<https://www.change.org/p/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E5%9B%BD%E6%94%BF%E5%BA%9C-%E8%BE%BA%E9%87%8E%E5%8F%A4%E7%B1%B3%E8%BB%8D%E5%9F%BA%E5%9C%B0%E5%B%BA%E8%A8%AD%E3%81%AB%E5%90%91%E3%81%91%E3%81%9F%E5%9F%8B%E7%AB%8B%E5%B7%A5%E4%BA%8B%E3%81%AE%E5%8D%B3%E6%99%82%E4%B8%AD%E6%AD%A2%E3%82%92%E8%A6%81%E8%AB%8B%E3%81%99%E3%82%8B>

う、沖縄防衛局に指示したのです。この指示に従わない場合、辺野古沿岸の岩礁破碎許可を取り消すことを視野に入れたものです。

このまま強引に工事を進めれば、沖縄県民との深刻な衝突や将来にわたる本土への不信の醸成が懸念されるだけでなく、日本という国に対する、内外からの信用が地に落ちることになるでしょう。

私たちは、翁長新知事の基地移設拒否の立場を支持し、今回の知事の作業中止指示と岩礁破碎許可取り消しについても、全面的な支持を表明するものです。私たちは、次の諸点について強く要請します。

日本政府は、海底ボーリング調査を含む、辺野古埋立にかかわるすべての行為をただちに中断すべきである。政府が埋立の根拠とする仲井真前知事の「埋立承認」は、すでに沖縄県民によって拒否されている。

この間、日本政府は、沖縄の総意を代表する翁長新知事との面会さえ拒絶しているが、これは、日本国憲法が保障している地方自治と民主主義の精神を否定するものである。民意の尊重が、民主主義の原点である。日本政府は、翁長新知事による面会要請を誠実に受け入れ、本件に関する真摯な協議に応じるべきだ。

日本政府には、自ら掲げる「地方創生」のスローガンを実践し、沖縄県に基地問題解決と自立経済建設についての実権を移譲するよう、要請する。

環境大臣には、今回の辺野古米軍基地建設に向けての埋立事業に関する環境影響評価書（辺野古アセス評価書）の内容に対して、環境保全上の見地から適切な意見を述べるべき責任がある。とくに辺野古地域・沿岸地域は、沖縄島の環境保全指針で「自然環境の厳正なる保護を図る区域」（ランクⅠ）とされ、ジュゴンをはじめ絶滅の恐れがある多様な生物種が生息する貴重な海域である。今回の埋立工事等による自然形状の人為的な変更や破壊によって不可逆的で取り返しのつかない絶対的損失がもたらされる恐れがきわめて高い。環境大臣には、世界遺産の候補にもなっている誇るべき沖縄の美しい海域を保全する重大な責務を果たすよう、ここに強く要請する。

沖縄県民の辺野古新基地建設拒否の意思の背景には、日本全体の0・6%に過ぎない沖縄に、74%もの米軍基地が押し付けられている現状への不満、憤りがある。日本国民には、この構造的差別ともいえる現状を直視し、日本の安全保障の問題は、その負担も含めて、日本全体で考えていくべきことを要請する。

2015年4月1日

浅岡美恵（弁護士）
淡路剛久（立教大学名誉教授）
礪野弥生（東京経済大学教授）
内橋克人（評論家）
遠藤誠治（成蹊大学教授）
大江健三郎（作家）
加茂利男（立命館大学教授）
川瀬光義（京都府立大学教授）

古関彰一 (独協大学名誉教授)
小森陽一 (東京大学教授)
斎藤純一 (早稲田大学教授)
高橋哲哉 (東京大学教授)
千葉 眞 (国際基督教大学教授)
寺西俊一 (一橋大学特任教授)
中野晃一 (上智大学教授)
西川 潤 (早稲田大学名誉教授)
西谷 修 (立教大学教授)
原科幸彦 (東京工業大学名誉教授・千葉商大教授)
前田哲男 (評論家)
間宮陽介 (京都大学名誉教授)
宮本憲一 (大阪市大・滋賀大学名誉教授)
和田春樹 (東京大学名誉教授)

宛先 日本国政府

声明「辺野古基地建設の即時中止を要請する」

言論工房 2015/04/03²

4月1日、これは冗談ではなく、「普天間・辺野古問題を考える会」(代表：宮本憲一)で緊急声明「辺野古米軍基地建設に向けた埋め立て工事の即時中止を要請する！」を出し、参議院議員会館で記者発表を行いました。

いつも、沖縄に関するこの種の会見は集まりがよいとは言えませんが、やはり安倍政権下で国の軍事化が進むいま関心が高いようで、60人ばかりのメディア関係者が集まりました。会見の様子は、琉球新報、東京新聞、赤旗、そして今回は朝日も写真入りで報じました。

しかし、テレビは来ておらず、ウェブ・メディアのIWJ(インディペンデント・ウェブ・ジャーナル)とにこにこ動画は会見を同時配信してくれました。IWJのサイトでは、記者発表の冒頭(声明の読み上げ)が公開されており、会員登録すれば約1時間半の全容を見ることができます。

「声明」は日本政府に送付されましたが、賛同署名を追加提出するため、以下のサイトで賛同を募っています。そこに「声明」の全文が掲載されています。よろしくご協力ください。<http://chn.ge/1aiGN6r>
今日のFacebookに上げた文言を貼り付けておきます。

「安倍・菅政府は「正月のうまい餅」のために沖縄を売り渡した仲井真前知事の側近を外務省参与に取り込むという手に出た。沖縄人を使って沖縄の反抗を潰そうとする、昔からの謀略や植民地支配の手口だ。菅たちの認める沖縄とは、仲井真などに代表される「最後はカネでしょう」で済ませる沖縄であり、翁長知事を選んで支持するような沖縄ではないのだ。

いままた政府は、嘉手納以南の小基地返還をエサに切り崩しを図ろうとしている。県民の民意を背にした翁長知事にとって、これからますます厳しい闘いが続く。何とかこれを本土から少しでも支えたい。」

昨日から始まった「緊急声明」に対する賛同署名は1日ですでに3500人を超えました。さらにこの環を広げてゆきたいと考えています。第一次〆切は4月20日です。拡散、賛同によりしくご協力ください。

関連サイトは以下です。

- ・琉球新報：<http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-241343-storytopic-271.html>
- ・朝日新聞デジタル：<http://www.asahi.com/articles/ASH415GMYH41UTIL020.html>
- ・しんぶん赤旗：http://www.jcp.or.jp/akahata/aik15/2015-04-02/2015040201_03_1.html
- ・IWJ(動画)：<http://iwj.co.jp/wj/open/archives/241133>

² <http://fushinohito.asablo.jp/blog/2015/04/03/7602974>

大江健三郎さんらが声明 「辺野古の埋め立て即時中止を」

ハフィントンポスト

2015年04月02日 10時26分 JST 更新: 2015年04月02日 10時32分 JST³



「辺野古の埋め立て即時中止を」 大江健三郎さんら声明

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古への移設計画をめぐり、作家の大江健三郎さんや学者、弁護士ら22人が1日、作業の即時中止を求める緊急声明を発表した。

声明では、ジュゴンなど多様な生物種が生息する辺野古の海域が、埋め立て作業によって「取り返しのつかない絶対的損失がもたらされる恐れがきわめて高い」と指摘。政府に対して環境保全など5点を求めている。20日までホームページ (<http://mcaf.ee/a2gd9>) で賛同者を募り、月内にも首相官邸に持参する予定だという。

この日都内で開かれた会見では、発起人の小森陽一・東京大教授ら学者たちが沖縄県の工事停止指示をめぐり政府の対応をあげて「民主主義や地方自治の否定だ」と批判。和田春樹・東京大名誉教授は「県と政府の争いの後ろには、我々の運命を決する問題がある。本土から声をあげなければならない」と訴えた。（朝日新聞デジタル 2015年4月1日 20時04分）

³ http://www.huffingtonpost.jp/2015/04/01/henoko-ooe-kenzaburo_n_6989478.html

辺野古新基地建設 識者「辺野古中止を」 大江氏ら22人緊急声明

琉球新報 2015年4月2日⁴



辺野古中止を求める緊急声明を発表する寺西俊一—橋大特任教授（左から5人目）ら＝1日、参院議員会館

【東京】宮本憲一大阪市立大名誉教授やノーベル文学賞作家の大江健三郎氏ら有識者22人が1日、米軍普天間飛行場返還に伴う名護市辺野古の新基地建設を県民が拒否する意思は明確だとして、「埋め立て工事の即時中止」を求める緊急声明を発表した。22人は声明の呼び掛け人となり、ウェブサイトでは賛同者の署名募集も同日から始まった。「万人単位」を目標にし、政府に提出するという。

声明を提案した寺西俊一—橋大特任教授、西谷修立教大教授らは同日、参院議員会館で会見し、翁長雄志知事が第三者委員会を設置し仲井真弘多前知事の埋め立て承認の検証を始めたことから「承認の根拠となった環境アセスメントの正当性が崩れる可能性がある。まともな民主主義国家の政府なら検証期間中に工事を中断するのが当然」と厳しく指摘した。

声明文では翁長知事による作業中止指示、今後見込まれる岩礁破碎許可取り消しにも「全面的な支持」を表明した上で（1）政府はボーリング調査を含む辺野古埋め立てに関わる全ての行為をただちに中断すべき—など5項目を求めた。同日中に安倍晋三首相宛てに送付した。

また、集めた賛同署名は20日に1次締め切り、5月20日に2次締め切りし、それぞれ政府に提出する。

署名サイトは <http://mcaf.ee./a2gd9>

⁴ <http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-241343-storytopic-271.html>

「辺野古工事中止を」 大江健三郎氏ら 有識者 22人緊急声明

赤旗 2015年4月2日(木)⁵

沖縄県名護市の辺野古沖への米軍新基地建設問題で、作家の大江健三郎氏、評論家の内橋克人氏ら国内の有識者22人は1日、建設に向けた埋め立て工事の即時中止を求める緊急声明を発表しました。

声明は、沖縄県民の民意を無視して政府が工事を進めることは「県民の意思を侮辱し、日本の民主主義と地方自治の根幹を破壊する暴挙」と批判。翁長雄志県知事による作業中止指示を全面的に支持し、▽政府は埋め立てに関わるすべての行為を中止する▽政府は翁長知事と真摯（しんし）に協議する▽環境大臣は、沖縄の美しい海域を保全する責務を果たす一ことなどを求めています。

発起人を代表して8人が国会内で会見。元滋賀大学長の宮本憲一氏は、沖縄防衛局が農水省に翁長知事の指示の取り消しを求める審査請求をしたことについて「国民の権利救済という行政不服審査法の趣旨に反する。公権力が公権力を審査するという茶番。安倍政権は不法の内閣だ」とのべました。

東京大学の小森陽一教授は、「安倍内閣による憲法9条改悪と辺野古の工事強行を許さないことは一体のもの。辺野古でたたかう市民と本土の私たちが連帯しなければならない」と強調しました。

発起人らは声明を安倍晋三首相あてに送付。インターネット上で声明への賛同署名（第1次締め切りは20日）を募っています。署名サイトは、（<http://mcaf.ee/a2gd9>）

⁵ http://www.jcp.or.jp/akahata/aik15/2015-04-02/2015040201_03_1.html

「辺野古の埋め立て即時中止を」 大江健三郎さんら声明

朝日新聞 2015年4月1日 20時04分⁶



「本土から声をあげよう」。沖縄・辺野古への移設作業の即時中止を求める発起人らが会見で思いを訴えた＝東京都千代田区の参院議員会館、吉浜織恵撮影

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古への移設計画をめぐり、作家の大江健三郎さんや学者、弁護士ら22人が1日、作業の即時中止を求める緊急声明を発表した。

声明では、ジュゴンなど多様な生物種が生息する辺野古の海域が、埋め立て作業によって「取り返しのつかない絶対的損失がもたらされる恐れがきわめて高い」と指摘。政府に対して環境保全など5点を求めている。20日までホームページ (<http://mcaf.ee/a2gd9>) で賛同者を募り、月内にも首相官邸に持参する予定だという。

この日都内で開かれた会見では、発起人の小森陽一・東京大教授ら学者たちが沖縄県の工事停止指示をめぐる政府の対応をあげて「民主主義や地方自治の否定だ」と批判。和田春樹・東京大名誉教授は「県と政府の争いの後ろには、我々の運命を決する問題がある。本土から声をあげなければならない」と訴えた。

⁶ <http://www.asahi.com/articles/ASH415GMYH41UTIL020.html>